

平成27年度 行政評価 施策カルテ

施策名	3 学んだ成果を活かす仕組みの構築
-----	-------------------

施策主管課	生涯学習課	総合計画記載頁	107ページ
-------	-------	---------	--------

1 施策の位置付け

政策の柱	II 市民の学ぶ意欲と豊かなこころを育むために	政策名 (基本施策名)	8 生涯にわたる学習活動を促進する	政策の達成目標 (基本施策目標)	子どもから大人まで、市民の誰もが自分に合った学習の機会や場を得られるとともに、意欲をもって地域のための活動に取り組んでいます。
------	-------------------------	----------------	-------------------	---------------------	---

2 施策の取組状況

施策目標	より良い地域社会をつくるために、学びの成果を活動に活かしています。
------	-----------------------------------

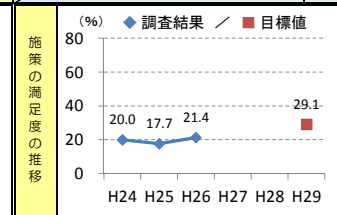
① 施策指標	指標名(単位)		H24	H25	H26	H27	H28	H29 (目標年)	評価
	指標1	人材バンクの登録者数	単年度目標値	370	424	527	631	684	
現状値		実績値	320人	306	306	316			
目標値(H29)		単年度の達成度	728人	82.7%	72.2%	60.0%			
指標2	家庭教育サポーター養成講座修了者数	単年度目標値	50	65	80	95	110	125	A
	現状値	実績値	38人	46	65	73			
	目標値(H29)	単年度の達成度	125人	92.0%	100.0%	91.3%			
		単年度目標値							
		現状値							
		目標値(H29)							

② 市民意識調査結果	指標名(単位)		H24 (現状値)	H25	H26	H27	H28	H29	評価
	指標3	施策の満足度(%)	調査結果	20.0%	17.7%	21.4%			
目標値(H29)		前年度からの増減	29.1%		-2.3%	3.7%			
③ 主要な構成事業の進捗状況 (主要な構成事業の個別の進捗状況は、「3 施策を構成する事業の状況」を参照)									B

【参考】中核市等との水準比較	指標名(単位)		H24	H25	H26	H27	H28	H29
	全生涯学習センター及び地域コミュニティセンターの利用者数/市民1人	中核市平均	実績値	2.19	2.03	2.02		
中核市での本市の順位			20位/41市中	18位/41市中	22位/42市中			
中核市平均								
実績値								
		中核市での本市の順位						
		中核市平均						
		実績値						
		中核市での本市の順位						

※『①施策指標』の単年度の達成度の計算について

★ 通増型の指標(目標値が基準値より増加することが望ましいもの)	$\frac{\text{実績値}}{\text{目標値}} \times 100 (\%)$
★ 通減型の指標(目標値が基準値より減少することが望ましいもの)	$\frac{\text{目標値}}{\text{実績値}} \times 100 (\%)$



① 施策指標	A: 達成度90%超 [33点]	B: 達成度70%~90% [25点]	C: 達成度70%未満 [15点]
② 市民意識調査結果(満足度)	A: 前年度より向上 (+5pt超) [33点]	B: 前年度同水準 (±5pt以内) [25点]	C: 前年度より低下 (-5pt超) [15点]
③ 主要な構成事業の進捗状況	A: 計画以上 (主要な構成事業の2割超が計画以上) [33点]	B: 計画どおり (主要な構成事業の8割以上が計画どおり) [25点]	C: 計画より遅れ (主要な構成事業の2割超が計画より遅れ) [15点]
総合評価	順調:(A評価が2つ以上(C評価がある場合を除く。)) [90点以上]	概ね順調:(主にB評価が2つ以上) [65点以上90点未満]	やや遅れている:(C評価が2つ以上) [65点未満]

取組内容と成果・成果の要因、進捗の状況		総合評価	74点
---------------------	--	------	-----

施策を取り巻く環境等	・平成25年1月の中央教育審議会生涯学習分科会における「議論の整理」において、全ての国民が、そのライフステージや置かれた状況に応じた学習の機会が得られ、学習が継続でき、その成果を社会生活・職業生活に適切に活かすことができる生涯学習社会の実現が一層求められているとしている。	市民満足度	・学習活動やその成果を活動に活かすことができるよう、地域における多様な活動主体間の連携強化に取り組んできたことにより、市民満足度は昨年度より増加している。
施策指標	・人材バンクの登録者数については、これまでの講師や講座情報などに加え、地域人材の活用と地域の教育力向上を目的に、人と団体をつ結び付ける「地域人材マッチング機能」の構築など、事業の拡大を図るための新たな仕組みの構築に取り組んでいたため、登録者数はほぼ同数となっているが、平成26年度末にシステムのリニューアルを完了させたことに伴い、今後は人材バンク登録者数の増加が見込める。 ・家庭教育サポーター養成講座修了者数については、親学や家庭教育支援の輪を広げていく必要性を訴え、家庭教育支援の充実に向けて取り組んできたことにより、修了者数が増加し指標の達成率は9割を維持した。		

総合評価	概ね順調
------	------

3 施策を構成する事業の状況

※凡例 ○:「総合計画の戦略プロジェクト・主要事業」対象、★:「③ 主要な構成事業の進捗状況」対象(最大5事業選択)

No.	事業名	戦略P・主要事業※	事業が属する総合計画の構成事業名	事業内容		事業の進捗状況	H26事業費(千円)	開始年度	日本一施策事業	施策目標を達成するための取組方針
				対象者・物(誰・何に)	取組(何を)					
1	生涯学習情報提供事業	○★	・人材バンクの構築	全市民	生涯学習情報提供システム(マナビス)による情報提供、学習相談窓口の開設	計画どおり	1,612	H3		市民の主体的な生涯学習活動や地域活動を推進するとともに、学んだ成果を活かしたい人材を支援する重要な事業である。平成26年度には、システムをリニューアルし、従来の講師や講座情報などに加え、地域人材の活用と地域の教育力向上を目的に、「ボランティアが可能な人(団体)」と「ボランティアを必要としている団体(人)」を結び付けるための「地域人材マッチング機能」を付加した。今後はその効果的な運用のための仕組みづくりや利用促進に向けた周知を行っていく。
2	宇都宮市地域婦人会連絡協議会補助金		・社会教育関係団体の育成・連携促進	宇都宮市地域婦人会連絡協議会	事業の経費に対する補助金の交付	計画どおり	400	S36		本市の成人教育及び青少年教育の推進に寄与する団体であり、市の関係各課の事業協力や支援活動においても充実している団体であることから、今後も引き続き補助金を継続する。また、協議会活動の更なる活性化や充実に向けた指導・支援を行っていく。
3	宇都宮ユネスコ協会補助金		・社会教育関係団体の育成・連携促進	宇都宮ユネスコ協会	事業の経費に対する補助金の交付	計画どおり	100	S36		ユネスコの活動については、市民の人権・国際理解の促進に寄与しており、社会をつくる人づくりの推進への貢献度は高い。今後は、活動が活性化するように支援しながら、人権・国際理解教育を推進していくため、引き続き補助金を継続する。
4	宇都宮市PTA連合会補助金		・社会教育関係団体の育成・連携促進	宇都宮市PTA連合会	事業の経費に対する補助金の交付	計画どおり	950	S32		家庭・学校・地域連携の中心となって活動することが期待される団体であり、今後も意見交換などを実施しながら、行政と連携した取組の充実等の支援を行い、本市の家庭と地域の教育力向上のため、引き続き補助金を継続していく。
5	宇都宮市子ども会連合会補助金		・社会教育関係団体の育成・連携促進	宇都宮市子ども会連合会	事業の経費に対する補助金の交付	計画どおり	1,100	S44		地域に密着して青少年健全育成に取り組み、中心となって活動することが期待される団体であり、本市の地域の教育力向上のため、引き続き補助金を継続する。また指導者研修の共同開催など、行政と連携した取組の充実についても引き続き支援していく。
6	人材かがやき支援事業(再掲)	★	・地域教育メッセの充実	生涯学習にかかわる又は関心のある市民	地域教育メッセの開催	計画どおり	31	H20	先駆的	出展団体や市民が交流しながら活動紹介や情報交換ができ、施策目標の達成に貢献している。今後もより一層、市民の生涯学習支援に寄与することができるよう、引き続き「うつのみや人づくりフォーラム」と同時開催し、局内の連携を強化するとともに事業の更なる充実を図っていく。
7	成人対象事業(再掲)	★	・各種講座・事業の充実	概ね18歳以上の市民	各種教養講座、高齢者教室などの開催	計画どおり	3,522	S24		一人ひとりの人間力を高める事業として施策目標への貢献度は高く、多様な市民ニーズや様々な社会情勢に対応した魅力ある講座を今後も実施すると同時に、地域の課題に気づく地域学講座の実施や、市民が運営する講座の更なる推進に取り組んでいく。また、講座の実施にあたっては、実施日時の工夫など、地域教育を支える大人の学習機会として、より多くの市民が受講できるよう努めていく。
8	家庭の教育力向上事業の推進(再掲)		・親学の推進	主に保護者、未来の親(中学生・高校生等)、家庭教育支援団体、企業	親学出前講座の実施、親と子どもの情報誌の発行、家庭教育サポーターの養成、市P連・企業との連携等	計画以上	3,133	H19	独自性	家庭や地域における教育力の低下が憂慮される中、家庭教育支援の柱である親学の推進は非常に重要であり、親学出前講座や親学情報誌の発行、その他家庭教育に関する啓発事業などを実施している。平成26年度については、思春期の子どもをもつ親の家庭の教育力向上を図るため、著名な専門家を講師とした大規模な講演会を開催するとともに、講座に参加困難な親に対しての親学周知を図るため、市PTA連合会等との連携強化や不特定多数の保護者が集まる場にも出向き親学講座を実施するなど、計画以上の講座を開催し、昨年度と比較し千人以上の参加者が増加した。今後も生涯学習センター等での親学講座の開催や、企業における社員研修での親学出前講座の実施を図るなど、親学を面的に広めていく。また、親同士の交流促進や孤立している親への支援を行う家庭教育サポーターについても、地域における活動の活性化を図るための支援を行うとともに、フォローアップ研修やサポーター同士の情報交換の場を設定するなど、養成講座終了後の活動支援を行っていく。

4 今後の施策の取組方針

今後の方向性	
課題	<p>◆学んだ人を活動主体(団体)につなぐ仕組みの活用や活動に参加するきっかけづくりへの取組、地域の企業や市民活動団体などにおける連携・協働の促進に向けた取組が必要となっている。</p>
方向性	<p>〈施策全般〉 ◆地域における多様な活動主体間の連携を積極的に図り、講座等で学んだ知識はもとより、技術、経験、人とのつながりなどを社会参画や地域活動へとつなげる仕組みづくりに取り組んでいく。</p> <p>〈主要事業〉 ◆生涯学習情報提供事業については、従来の講師や講座情報などに加え、平成26年度にシステムのリニューアルで付加した、「地域人材マッチング機能」の効果的運用のための仕組みづくりや利用促進に向けた周知を図っていく。 ◆人材かがやき支援事業については、今後もより一層、市民の生涯学習支援に寄与することができるよう、引き続き「うつのみや人づくりフォーラム」との連携協力を図りながら、事業の更なる充実に取り組んでいく。 ◆成人対象事業については、講座の実施日時の工夫などにより、より多くの市民が受講できるよう努めるとともに、多様な市民ニーズや社会情勢に応じた魅力ある講座の実施、地域学講座や市民運営講座の更なる推進に取り組んでいく。</p> <p>〈その他個別事業〉</p>